

標 題	平田柿部会が夏期栽培研修会を開催！ ～更なるレベルアップを目指して～
-----	---------------------------------------

(ダイジェスト)

J Aしまね平田柿部会（部会員93名）は、8月23日に夏期の栽培研修会を開催しました。今年は松江養蜂組合と農業技術センターから講師を招き、「交配用蜜蜂」、「近年の柿害虫の傾向と対策」、「発芽不良樹の対策」の3テーマを受講しました。

J Aしまね平田柿部会で栽培技術の更なるレベルアップを図るため、8月23日に松江養蜂組合から3名、農業技術センターから2名の講師を招き、研修会を開催しました。

まず、松江養蜂組合から「交配用蜜蜂について」と題して、交配用蜜蜂の性質、行動範囲、活動温度、蜜蜂の巣箱を設置する時の注意点について話されました。その中で、巣箱の設置は農薬がかからないように樹の下には置かず、コンテナや酒箱などの上に置き、蜜蜂へ農薬の影響が出ないように設置をして頂きたいとの説明があり、部会でも交配用蜜蜂を利用しているため、今後の巣箱管理に役立つ話で、参加者24名は熱心に耳を傾けていました。

その後、農業技術センターから「近年の柿害虫の傾向と対策」と近年、発生が増えている「発芽不良樹の対策」について講演がありました。

講演終了後には参加者からの質問がありましたが、特に蜜蜂の生態については普段はなかなか聞けない話題であったこともあり、多くの質問が出て、大変、有意義な研修会となりました。

今後、平田柿部会では9月18日に開催される出荷総会を皮切りに、30年産の出荷に向けた取り組みが続きます。

普及部では、引き続き関係機関と連携し、30年産の販売目標額3億円の達成に向け支援していきます。



研修会の様子